

令和5年度生徒会スローガン決まる！

5月16日(火) 生徒総会が行われ、今年度の生徒会スローガンが決定しました。『夢見鳥-Butterfly effect-』というスローガンです。幼虫からサナギを経て羽化するという蝶の成長過程は人間の成長過程に似ている。人間も中々自分から行動を起こせず、何をどうすればいいか分からない蝶でいうサナギの時期がある。しかし、自分自身に自信を持ち、ほんの小さなアクションでも起こすことで、自分の可能性を広げていきサナギから立派な蝶に変化していきたいという願いを込めた素晴らしいスローガンです。

会を進行する上で予期せぬ出来事もあったようですが、臨機応変に対応し、生徒の皆さんの成長を感じさせる一幕もありました。



令和5年5月25日
5月号
発行: 宮古北高等学校



学ぶ防災

田老地域の歴史や震災について学ぶ

県の「いわての復興教育スクール事業」の一環として、一年生は五月十九日(金) 総合的な探求の時間に防災学習を行いました。たろう潮里ステーションのガイドさんから震災前の田老の模型を用いて、過去三回の津波の被害等の説明をいただきました。その後、現在の防潮堤や震災遺構「たろう観光ホテル」を見学しました。同ホテルで撮影された震災直後の映像を視聴しました。現地で学習できたからこそ、より一層防災意識の高揚を図ることができました。

放課後生徒会活動スタート

今年度から放課後に1時間程度、海岸清掃等のボランティアを行う「放課後生徒会活動」を始めました。今後より一層活動の場を増やしていきたいと思えます。



令和5年度 高総体バドミントン競技

高総体バドミントン競技に3A古館 睦月さんと2A山岸 誠弥さんが出場しました。20日(土)にダブルスの試合が、21日(日)にシングルの試合が行われ、対戦相手に臆することなく大健闘してくれました。こういう経験が今後の人生に大きく影響します。2人ともお疲れ様でした。



宮古北高校では、体験学習や探求活動を推進し、思考力・判断力の育成に努めており、また、職業理解を深めるフィールドワークや、地域での農業体験を行うなど、学校全体でキャリア教育に取り組んでいます。

学校規模としては大きくはありませんが、生徒が主体となり力を合わせて教育活動を展開しています。生徒のボランティア活動を充実させ、地域に貢献して参りますので、ご支援ご協力お願い致します。

令和5年5月25日
文責 宮古北高交副交長

ノートのページ



学校ウェブページ



お知らせ

学校ウェブページ、ノートのページへのアクセスがしやすくなるようQRコードを載せます。ノートのページでは主に行事での様子を写真中心にお伝えしていきます。ぜひアクセスしてください。